

第4回山の学習、最後のイベントに60人参加

あいち認証材を使った独自工法の家づくりをしている地域「ルター(榊原)明城(愛知県安城市、榊原勝己社長)は、子供たちに山や森林の素晴らしさをよく知ってもらおうと昨年から「山の学習」を行っており、今年も4回にわたり新城市作手の榊原社長の私有林で間伐材の伐採実演、生態系学習や木工工作の箸づくりなど体験学習を行った。その最後の第4回目山の学習が21日、雨まじりの中で家族連れ約60人が参加して賑やかに行われた。このイベントは、今年の「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進交付金事業」に採択されている。

杉の山林で間伐材伐採や学習会

板倉工法と土壁の100%自然素材の家 明城

林道と溪流に挟まれた杉の山林でニジマスつかみ取り

であり、上流には家もなく、清らかな水が流れる沢の音が常に聞こえる。

そして昼から間伐材を地元伐採専門業者がチェーンソーで実演するのを見学。

そして、きれいな水や空気は山に木が無い

震パネルなど独自開発する事で、100%自然素材の住宅を低コストで安定供給できる住宅に進化させ大手と差別化を図り、あいち認証材の需要拡大を進めている

イベント現場は林道と溪流に挟まれた、かつて棚田だった後に杉を植林した5ヶほどの山林。階段状になった学習3回、今年も4回緩やかな傾斜地で、家族連れが参加する山林として恵まれた地形

榊原社長はそうしたイベントに適していることからその山林を手入れ、昨年からの学習3回、今年も4回開催。学習をしたり休憩場所にもなる舞台小屋も建設、同社のOB客やその知人らに呼び掛け行っている。

山に到着するとまずバーベキューの食事に必要な箸づくり体験。自分の食べる箸は各自が作成することになっている。

そして子供たちはニジマスのつかみどり。溪流に網を張り、ニジマスを放流して行う。そのニジマスを串刺しにして塩焼きし、バーベキューと一緒に食べるのが昼食。



間伐材の伐採実演。子供たちは息をこらして、木が倒れる瞬間の様子をあげ見守っていた

そのニジマスを串刺しにして塩焼きし、バーベキューと一緒に食べるのが昼食。



平松幸伸先生の「山の学習」



ニジマスの塩焼きやバーベキューを楽しんだ

ても地域の山林や木の大切さを普及している。

- 西部 ▷21日(木)西垣名古屋 ▷22日(木)ホルツ三27日(木)名古屋国有林 東海西部 (56周年記念恒名古屋 (特売日) ▷30日(金)東海大口 西垣
- 日(金)四日市木材 (特別市) ▷6日(木)鈴鹿木材7日(木)ウッドピア市売 ▷8日(木)美杉木材▷市売 (製品特別市) ▷12日(木)四日市木材▷市売 (原木特別市) ▷16日(金)鈴鹿木材▷20▷21日(木)ウッドピア市売 ▷22日(木)四日市木材市) ▷26日(木)鈴鹿木材 ▷28日(木)ウッドピア

立たせ、なぜ下刈りが必要か分からせるのに工夫を凝

野 株式会社 櫻井
厚バリア化粧柱
TEL 0764631205六三
FAX 0764631281五〇二

小学低学年から幼稚園児が多く、平松先生は山や木の話や桃太郎の童話を引き合いに出し、芝刈りや下刈りの違いを説明したり、写真のように子供たちを植林した木の代わりに立たせ、なぜ下刈りが必要か分からせるのに工夫を凝らしていた。そして、きれいな水や空気は山に木が無い震パネルなど独自開発する事で、100%自然素材の住宅を低コストで安定供給できる住宅に進化させ大手と差別化を図り、あいち認証材の需要拡大を進めている

と生まれにくいことなど山を中心とした生態系を小さな子供たちに理解させるのに、ひと苦勞の様子だった。

同社は耐震壁倍率3・9の土壁パネルはじめ床、間仕切り用の耐